

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 競技者の招集について

- (1) 競技者招集場所は雨天練習場に設置する。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
(棒 高 跳)	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前

(3) 招集の手順

※フィールド種目については、すべて現地コールとする。【本競技会特別規定】

- ①競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳は12mm以下、その他は9mm以下）・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
 - ②2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、あらかじめ本人が文書（競技者係備え付け）を添えて申し出ること。（競技者係は、その旨を流しプロに記載し連携を図る）
 - ③招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
 - ④四種競技出場者の招集については以下の要領で行う。
 - *トラック種目：(3)の①に従って、競技者係による通常の点呼を受ける。
 - *フィールド種目：招集開始時刻に現地に集合し点呼を受ける。
 - *四種競技出場者が途中で棄権する場合は、本人もしくは監督が審判長に申し出ること。
 - ⑤リレーのオーダー用紙は、学校受付時にエントリー選手が記載されたオーダー用紙を配布するので、用紙に走順を記入し、招集開始時刻の1時間前までに記録室に提出する。
- (4) スタートについては、『イングリッシュコマンド、1回目に不正スタートをした者が失格』とする。但し、1年生に限り、『イングリッシュコマンド、2回目に不正スタートをした者が失格』とする。
また、混成競技については、『イングリッシュコマンド、2回目に不正スタートをした者が失格』とする。

3. ナンバーカードについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。但し、跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。ナンバーカードはプログラムに記載のものと同一ナンバーでなければならない。（競技規則第143条⑦）
- (2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。

4. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

走高跳	男子	練習 (1m35)	1m40～1m70	(5cmずつ)	1m73～(3cmずつ)
	女子	練習 (1m15)	1m20～1m45	(5cmずつ)	1m48～(3cmずつ)
四種競技	男子	練習 (1m30)	1m35～1m50	(5cmずつ)	1m53～(3cmずつ)
	女子	練習 (1m15)	1m20～1m30	(5cmずつ)	1m33～(3cmずつ)
棒高跳	男子	練習 (2m50)	2m60～	(10cmずつ)	

5. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

6. 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。（駐車場・芝生広場での練習は一切禁止する）
- (2) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (3) 選手・役員・補助員以外は競技場内に立ち入ることはできない。（応援はすべてスタンドで行うこと）
- (4) 本部前の通行は一切禁止する。（スタンド下通路・場外・バックスタンドのいずれかを利用すること）
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各校で持ち帰ること。（競技場内にゴミ箱は設置していない）
- (6) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (7) 関係者以外のカメラ、ビデオでの撮影を禁止します。尚、場合によっては、目的、身分を確認させていただきます。